

## 平成29(2017)年「正覚寺報」4月号

## ご案内

**七百五十回大遠忌実行委員会** 4月9日(日)19時

第3回実行委員会が開催されます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

**仏教婦人会例会** 4月16日(日)19時半～

仏教婦人会恒例の例会です。寺院活動の中で最も伝統が古い活動です。お一人でも多くの皆様の参加をお待ちしております。

**小松仏教会花祭り** 4月29日(土)9時半～

正覚寺が花祭りの会所をお引き受けするのは15年ぶりです。仏壮主催の降誕会も兼ねます。子供数が減ったとは云え、当日は、北比良・南小松からの参加者を含め50名の子供達が集まります。午前中は、お釈迦様の誕生仏を戴いた白象を曳き在所中を行進します。

午後の子供の日の行事は、影絵を用いた布教団体・影絵「ともしえ」の若者の皆さんを招き、「かげえ・ご法話」の他、新趣向を組み合わせます。降誕会恒例の「みんなで花を植えましょう」はその規模を拡大して実施します。

**伝統奉告法要団体参拝** 5月14日(日)

来月のご本山参拝行事です。新門主がお就きになり、如来様にご奉告する宗門を挙げてのお祝いの行事です。当日は、午前9時25分の快速で出発します。正覚寺の人数枠は15名ですので、今から参加者の募集をお願い致します。

**“お彼岸会”を賑やかに勤め戴きました**

去る3月19日(日)には、正覚寺が会所となり春の彼岸会が営まれ、昼&夜のご法座とも賑やかに勤め戴けたことが大きな喜びでした。

新発意の海外赴任に合わせて、どのようにすれば、浄土真宗のお法りをお伝えできるかずっと具体的な方法論を開発して参りました。

彼岸会では日頃のご法縁でその効果を確認

できた事例をご紹介をさせて戴いたのです。

一つが「のんのさま」の調べに乗せて「南無阿彌陀佛」版が軌道に乗ってきたことのご紹介でした。この御法話は、親鸞聖人のお法りの特徴を要素展開していること、一番の「にじの橋」に併せて二番では「六字橋」を謳い上げたところが特徴です。何よりも「弥陀の浄土に渡る橋」で締めることができたところが大きな成果です。

お気づき戴いたかもしれませんが、当日、正覚寺に初めてご縁を結んで戴き、お一人は御門徒のお仲間になって戴いた次第でありました。

**本堂配線修復工事**

御遠忌を迎えるに当って、手の付けられるところから、修復工事を行うことを目的として、本堂配線修復工事を行いました。先月2月18日に点検、3月6日、11日及び25日の三日間を掛けて修復を終って戴きました。内陣の布引配線等、漏電箇所修復が大きな目的でありましたが、客殿も含めてLEDに更新し、電力消費量削減(省エネ)も実現できることになりました。

既に本堂建築後50年を経過しており、本堂屋根裏の点検も行いましたが、天井が吊り天井構造になっているところから、足場もなく、VAケーブル(メーカー保証は30年)の更新は断念せざるを得ませんでした。

当初、総代様方には、別途、内陣・外陣の天井や壁板の荘厳も視野に入れて戴いていたのですが、予算原資の課題が障碍になっていました。今回の配線修復に際しての本堂屋根裏点検で、建設当時のVAケーブルが敷設されたままでいずれその更新は避けて通れませんが、それには足場も必要になりますので、長期的なインフラ整備の課題として併せて今後の構想としてご認識戴くことが大事になって参ります。合掌。